

第 57 回 日本生化学会 中国・四国支部例会

日時：平成 28 年 5 月 27 日（金）－ 28 日（土）

場所：高知大学医学部実習棟第 1・2 講義室（3F）

5 月 27 日（金）

13：30 受付開始（実習棟 3F）

14：00 シンポジウム 『神経糖鎖生物学の新展開』（A 会場）

17：10 特別講演（A 会場）

18：30 懇親会（看護学科棟 2F）

20：00 送迎バス

5 月 28 日（土）

8：30 受付開始（実習棟 3F）

9：00 一般講演

A 会場（午前）

9:00-10:00 (A01-A05)

座長：湯浅創（高知大）

10:10-11:10 (A06-A10)

座長：松浦達也（鳥取大）

11:20-12:08 (A11-A14)

座長：澤崎達也（愛媛大）

B 会場（午前）

9:00-10:00 (B01-B05)

座長：麻生悌二郎（高知大）

10:10-11:10 (B06-B10)

座長：関藤孝之（愛媛大）

11:20-12:08 (B11-B14)

座長：内海俊彦（山口大）

12：15 評議員会（看護学科棟 1F 多目的室）

13：10 一般講演

A 会場（午後）

13:10-13:58 (A15-A18)

座長：山崎岳（広島大）

14:08-14:56 (A19-A22)

座長：赤木玲子（安田女子大）

B 会場（午後）

13:10-13:58 (B15-B18)

座長：東山繁樹（愛媛大）

14:08-14:56 (B19-B22)

座長：水上洋一（山口大）

15：00 支部総会（A 会場）

特別講演・シンポジウムプログラム

5月27日(金) A 会場(第2講義室)

14:00-18:10

14:00-17:00 シンポジウム:『神経糖鎖生物学の新展開』

座長: 門松 健治 (名古屋大)・伊藤 孝司 (徳島大)

14:00-14:45

神経難病としての糖鎖蓄積症モデル系の構築と治療法開発への応用

伊藤 孝司

(徳島大学大学院医歯薬学研究部・創薬生命工学分野 教授)

14:45-15:30

Bisecting GlcNAc 糖鎖修飾とアルツハイマー病に関する研究

木塚 康彦

(理化学研究所 疾患糖鎖研究チーム)

15:30-16:15

アミロイド β 蛋白重合開始の分子機構-神経糖鎖の病的意義

柳澤 勝彦

(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 研究所長)

16:15-17:00

硫酸化糖鎖によるオートファジーと軸索再生の制御

門松 健治

(名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

17:10－18:10 特別講演

座長： 本家 孝一（高知大）

**がん細胞の浸潤・転移を促進するハブ分子としての膜型マトリックスメタロプロ
テアーゼ(MT1-MMP)**

清木 元治

（金沢大学医薬保健研究域・医学系 特任教授、東京大学名誉教授）

一般講演プログラム

(時刻は演題開始時刻、下線演者は学術奨励賞の候補学生)

5月28日(土) 午前、A会場(第2講義室)

9:00-12:08

A01-A05 発表者の USB 接続時間 8:50-9:00

座長: 湯浅 創 (高知大)

9:00 A01

シャペロニン GroEL 変異体と天然変性蛋白質 α シヌクレインの相互作用

○福井直也, 荒木紀帆, 本郷邦広, 溝端知宏, 河田康志

(鳥取大学大学院工学研究科化学・生物応用工学)

9:12 A02

脱リン酸化解析用タンパク質基質(リン酸化 TandeMBP)の開発

○上里裕樹¹、山下翔¹、千賀由佳子^{1,2}、片山将一¹、五島直樹³、茂里康⁴、末吉紀行¹、亀下勇¹、杉山康憲¹

(¹香川大・農・応用生物科学、²産総研・バイオメディカル研究部門、³産総研・創薬分子プロファイリング研究センター、⁴産総研・健康工学研究部門)

9:24 A03

HL-60 細胞を用いた血球分化時における Unfolded protein response の解析

○谷村綾子¹、堀口大吾¹、三好圭子¹、Dian Yosi Arinawati²、野間隆文¹

(¹徳島大学大学院医歯薬学研究部分子医化学、²徳島大学大学院口腔科学教育部)

9:36 A04

蓄積する生体内基質の異なるリソソーム病患者由来細胞におけるオートリソーム形成の比較解析

○本窪田絢加、辻大輔、田中裕大、山口沙恵香、水谷安通、渡邊綾佑、伊藤孝司

(徳島大学大学院医歯薬学研究部・創薬生命工学分野)

9:48 A05

Tay-Sachs 病患者 iPS 細胞由来神経病態モデル系における神経細胞死メカニズムの解明

○渡邊綾佑、辻大輔、山口沙恵香、本窪田絢加、水谷安通、田中裕大、伊藤孝司

(徳島大学大学院医歯薬学研究部・創薬生命工学分野)

A06-A10 発表者の USB 接続時間 10:00-10:10

座長: 松浦 達也 (鳥取大)

10:10 A06

トランスジェニックカイコ由来ヒトカテプシン A の機能及び有用性の評価

○日高朋¹、西岡宗一郎¹、月本準¹、近藤まり²、小林功³、笠嶋めぐみ³、辻大輔¹、瀬筒秀樹^{2,3}、伊藤孝司¹

(¹ 徳島大薬、² 東京大院・新領域、³ 農業生物資源研)

10:22 A07

TG カイコ由来ヒトリソソーム酵素の糖鎖リモデリングと治療への応用

○西岡宗一郎^{1,8}、小林功^{2,8}、原園景^{4,9}、久保勇樹⁵、松崎祐二⁶、真板宣夫³、日高朋¹、辻大輔^{1,8}、瀬筒秀樹^{2,8,9}、町井博明^{2,8}、石井明子^{4,9}、川崎ナナ^{7,9}、伊藤孝司^{1,8,9}

(¹ 徳大院薬、² 農業生物資源研、³ 徳大疾患酵素研、⁴ 国立衛研生物薬品部、⁵ 増田化学工業(株)、⁶ 東京化成工業(株)、⁷ 横浜市大院生命医科学、⁸ 医薬品作物・医療用素材等の開発 PT、⁹ AMED 創薬基盤推進研究事業)

10:34 A08

コムギ無細胞系を基盤とした NF-κB シグナルの阻害剤探索

○真鍋英里香、上松篤史、城戸康希、竹田浩之、高橋宏隆、澤崎達也

(愛媛大学 プロテオサイエンスセンター)

10:46 A09

低栄養ストレスによる D-アミノ酸酸化酵素タンパク質の動的変化

○曾我部 浩史¹, 赤穂 堯永¹, 宍戸 裕二^{1,2}, Diem Hong Tran¹, Trinh Thi Thanh Huong¹, 頼田 和子¹, 加藤 有介¹, 福井 清^{1,2}

(¹ 徳島大・疾患酵素研・病態システム, ² 徳島大・疾患酵素研・酵素学教育講習)

10:58 A10

Regulation of gene expression of mouse D-amino acid oxidase

○Huong Thi Thanh Trinh, Yuji Shishido, Diem Hong Tran, Hirofumi Sogabe, Soo-Hyeon Kim, Kiyoshi Fukui

(Division of Enzyme Pathophysiology, Institute for Enzyme Research, Tokushima University)

A11-A14 発表者の USB 接続時間 11:10-11:20

座長: 澤崎 達也 (愛媛大)

11:20 A11

硫酸化糖脂質 Seminolipid はセルトリ細胞の Exosome 分泌を制御する

○山下 竜幸¹, 仁尾 景子¹, 矢生 健一², 宮原 馨³, 佐藤 美帆², 津田 雅之², 小杉智規⁴, 門松 健治⁴, 本家 孝一^{1,3}

(¹ 高知大学医学部附属先端医療学推進センター、² 高知大学総合研究センター、³ 高知大学医学部生化学講座、⁴ 名古屋大学医学部生化学講座)

11:32 A12

表皮肥厚性疾患を調節する新しい生理活性脂質の発見

○山本圭^{1,2,3}, 村上誠^{2,4}

(¹ 徳島大学大学院・生物資源産業学研究部、² 東京都医学総合研究所・脂質代謝プロジェクト、³ PRIME、⁴ AMED-CREST)

11:44 A13

Glycerophosphodiesterases, GDE4 and GDE7, are novel lysophospholipase D-type enzymes generating N-acylethanolamine and LPA

○Iffat Ara Sonia Rahman¹, Kazuhito Tsuboi¹, Yoko Okamoto², Toru Uyama¹, Naoshi Yamazaki², Tamotsu Tanaka², Akira Tokumura^{2,3}, and Natsuo Ueda¹

(¹Department of Biochemistry, Kagawa University School of Medicine;

²Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University Graduate School;

³Faculty of Pharmacy, Yasuda Women's University)

11:56 A14

ビタミンEによる極性制御因子の機能制御を介した創傷治癒促進効果

○堀越洋輔¹, 中曾一裕¹, 花木武彦^{1,2}, 仲宗根正人^{1,3}, 北川良憲^{1,3}, 持田晋輔³, 松浦達也¹

(¹鳥取大・医・統合分子医化学, ²鳥取大・医・病態制御外科学, ³鳥取大・医・麻酔・集中治療医学)

5月28日(土) 午後、A会場(第2講義室)

13:10-14:56

A15-A18 発表者のUSB接続時間 13:00-13:10

座長: 山崎 岳 (広島大)

13:10 A15

生後早期のマウス前頭前皮質における神経細胞周囲網の形成過程

○上野浩司^{1,3}, 末光俊介², 岡本基³, 石原武士²

(¹川崎医療短期大学臨床検査科, ²川崎医科大学精神科学, ³岡山大学大学院保健学研究科)

13:22 A16

深部小脳核シナプス伝達におけるリンクプロテイン Hapln4/Bral2 の役割

○枝松緑¹、宮野里菜子²、坂場武史²、大橋俊孝¹

(¹岡山大院医歯薬分子医化学、²同志社大院脳科学研究科)

13:34 A17

ヒトの脱ユビキチン化酵素(DUB)プロテインアレイの構築とポリユビキチン鎖切断活性評価系の構築

○柴田翔平¹、土居耕介¹、高橋宏隆¹、後藤栄治²、徳永文稔²、澤崎達也¹

(¹愛媛大学プロテオサイエンスセンター、²群馬大学 生調研 分子細胞制御)

13:46 A18

消化管炎症モデルを用いた腸上皮バリア障害機構の解明

○羽鳥勇太¹、井上幸江¹、赤木玲子¹

(¹安田女子大学薬学部薬学科)

A19-A22 発表者の USB 接続時間 13:58-14:08

座長： 赤木 玲子 (安田女子大)

14:08 A19

高血圧自然発症ラット(SHRs)における酸化ストレス応答

○青木真美子¹、山本由紀子²、山本和彦¹

(¹近畿大・工・院, ²近畿大・ライフサイエンス研)

14:20 A20

高血圧自然発症ラット(SHRs)における Nrf2 遺伝子の解析

○沖胡由希子¹、青木真美子²、磯田武志²、山本由紀子³、山本和彦^{1,2}

(¹近畿大・工, ²近畿大・工・院, ³近畿大・ライフサイエンス研)

14:32 A21

ミクログリアの異常な活性化の薬物による抑制

○谷口瑠梨、石原康宏、石田敦彦、山崎岳

(広島大・院・総合科学研究科・分子脳科学)

14:44 A22

レチノイドX受容体アゴニストによる脳内エストロゲン合成の亢進と神経保護作用

石原康宏、櫻井 光、○山崎岳

(広島大・院・総合科学研究科・分子脳科学)

5月28日(土) 午前、B会場(第1講義室)

9:00-12:08

BA01-B05 発表者の USB 接続時間 8:50-9:00

座長: 麻生 悌二郎 (高知大)

9:00 B01

レアメタル類(主にジスプロシウム)に対する新たな微生物応答の発見

○白米優一¹、松村歩梨²、芦内誠^{1,2}

(¹高知大学大学院農学専攻、²高知大学農学部)

9:12 B02

極限環境微生物由来ポリγグルタミン酸のレアメタル吸着反応における協同性

白米優一¹、尾池翔太¹、柴田由香²、○芦内 誠^{1,2}

(¹高知大学大学院農学専攻、²高知大学農学部)

9:24 B03

腸球菌 Na⁺輸送性 V-ATPase の活性に関わる NtpK サブユニットアミノ酸残基の同定

○山地有紀奈¹、河田美幸^{1,2}、西谷幸大¹、関藤孝之¹、柿沼喜己¹

(¹愛媛大学農学部、²愛媛大学学術支援センター)

9:36 B04

窒素飢餓条件における出芽酵母液胞アミノ酸トランスポーターAvt6 の機能解析

○山下に子¹、山中敦詞¹、杉本直子¹、宮西遥香¹、河田美幸^{1,2}、関藤孝之¹、柿沼喜己¹

(¹愛媛大学農学部、²愛媛大学学術支援センター)

9:48 B05

前立腺癌細胞における小胞体膜貫通型蛋白質 AibZIP の機能解析

○崔 香、崔 旻、浅田梨絵、金本聡自、今泉和則

(広島大学大学院医歯薬保健学研究院分子細胞情報学)

B6-B10 発表者の USB 接続時間 10:00-10:10

座長: 関藤 孝之 (愛媛大)

10:10 B06

ヒト多重回膜貫通タンパク質に生ずるタンパク質 N-ミリスチル化の解析

○黄波戸 亜哉、仁戸田 紗希、守屋 康子、内海 俊彦

(山口大学大学院創成科学研究科)

10:22 B07

N-ミリスチル化されたミトコンドリアタンパク質 SAMM50, TOMM40, CHCHD3, CHCHD6 の間に生ずる相互作用の解析

○松崎 嘉奈子¹、岩永 友花¹、守屋 康子¹、小渕 浩嗣²、内海 俊彦¹

(¹山口大学大学院創成科学研究科、²岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)

10:34 B08

造腫瘍能における二本鎖 RNA 結合蛋白質複合体 NF90-NF45 の影響

○樋口琢磨¹、戸高寛²、三輪武司¹、森澤啓子¹、Sylvia Lai Chin See¹、小野正文³、杉山康憲⁴、津田雅之⁵、坂本修士¹

(¹高知大学総合研究センター 分子生物学教室、²高知大学医学部 循環制御学、³高知大学医学部 消化器内科学、⁴香川大学農学部 応用生物科学、⁵高知大学総合研究センター 動物資源開発分野)

10:46 B09

膵臓ランゲルハンス島における RNA 結合タンパク質が有する新たな細胞制御作用

○OLAI SYLVIA CHIN SEE¹、樋口琢磨¹、杉山康憲⁴、森澤啓子¹、三輪武司¹、戸高寛²、津田雅之³、坂本修士¹

(¹高知大・総合研究センター・分子生物学教室、²高知大・医学部・循環器制御学、³高知大・総合研究センター・動物実験施設、⁴香川大・農学部・応用生物科学)

10:58 B10

2 型糖尿病の糖毒性に関わるリン酸化シグナル因子の同定と解析

○井戸彩詠¹、樋口琢磨²、戸高寛²、坂本修士²、村尾孝児³、杉山康憲¹

(¹香川大・農・応用生物科学、²高知大・総合研究セ・分子生物学、³香川大・医・内分泌代謝内科)

B11-B14 発表者の USB 接続時間 11:10-11:20

座長： 内海 俊彦 (山口大)

11:20 B11

***Burkholderia* sp. HME13 由来チオールウロカニン酸ヒドラターゼの諸性質と
Burkholderia sp. HME13 のエルゴチオネイン代謝経路の予想**

○村松久司¹、宮奥晴菜²、栗田周哉²、松尾英典²、柏木丈弘¹、加藤伸一郎¹、
金哲史¹、永田信治¹

(¹高知大学教育研究部総合科学系、²高知大学農学部)

11:32 B12

**Ulvain lyase identified from *Alteromonas* sp. strain KUL17 and its
expression in *Escherichia coli***

○Chuan He, Ryo Takahashi, Kouhei Ohnishi

(Research Institute of Molecular Genetics, Kochi University)

11:44 B13

アメフラシ消化液に含まれるフロロタンニン結合タンパク質の機能解析

○桑村修司¹、湯浅恵造¹、辻明彦¹

(¹徳島大学生物資源産業学部)

11:56 B14

**ダイズ根粒菌 *Bradyrhizobium japonicum* 由来フラビン依存性オクトピン脱水素
酵素の生化学的解析**

○渡辺誠也¹、末田壘¹、松井一直²、田嶋邦彦²

(¹愛媛大学大学院農学研究科、²京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科)

5月28日(土) 午後、B会場(第1講義室)

13:10-14:56

B15-B18 発表者の USB 接続時間 13:00-13:10

座長: 東山 繁樹 (愛媛大)

13:10 B15

定量プロテオミクスを用いた新規分裂期染色体軸索タンパク質の発見

○太田 信哉

(高知大学医学部 先端医療学推進センター)

13:22 B16

**乳がんゲノムエクソーム解析による ER α 発現上昇に関与する遺伝子変異の
検出**

○渡邊 健司¹、山本 滋³、坂口 修一²、岡 正朗³、水上 洋一¹

(¹ 山口大学大学研究推進機構・遺伝子実験施設 ² 山口大学大学研究推進機構・RI 実験施設 ³ 山口大学 医学部 消化器・腫瘍外科学分野)

13:34 B17

塩基改変した U1 snRNA によるカテプシン A スプライス異常修復効果の検討

○木村麻里安¹、池啓伸²、斎藤朱里¹、山崎尚志¹、伊藤孝司²、南川典昭³、滝口祥令¹

(¹徳島大学 薬学部 薬物治療学、²創薬生命工学、³生物有機化学)

13:46 B18

**Sandhoff 病モデルマウスにおける神経細胞死に対するリソソーム制御因子
Tfeb の関与**

○水谷 安通, 辻 大輔, 渡邊 綾佑, 山口 沙恵香, 本窪田 絢加, 田中 裕大,
伊藤孝司

(徳島大学大学院医歯薬学研究部・創薬生命工学分野)

B19-B22 発表者の USB 接続時間 13:58-14:08

座長: 水上 洋一 (山口大)

14:08 B19

CUL3 による血管内皮細胞接着制御機構の解析

○藤崎 亜耶子¹、坂上 倫久^{1,2}、中山 寛尚¹、前川 大志¹、東山 繁樹¹

(¹ 愛媛大学プロテオサイエンスセンター細胞増殖・腫瘍制御部門、² 愛媛大学
大学院医学系研究科心臓血管呼吸器外科学)

14:20 B20

EGF ファミリー分子の shedding 特性解析

○中山寛尚¹、坂上倫久¹、前川大志¹、藤崎亜耶子¹、東山繁樹¹

(¹愛媛大学プロテオサイエンスセンター 細胞増殖・腫瘍制御部門)

14:32 B21

**生体膜の細胞質側のコレステロールを可視化する新規コレステロールプローブ
D4H の開発と応用**

○前川大志^{1,2,3}、Gregory D Fairn³、東山繁樹^{1,2}

(¹愛媛大学大学院 医学系研究科 生化学・分子遺伝学分野、²プロテオサイエ
ンスセンター 細胞増殖・腫瘍制御部門、³Keenan Research Centre for
Biomedical Science, St. Michael's Hospital, Toronto, Canada)

14:44 B22

肝肺疾患(HPS)モデルマウスの作成とその病態解析

○坂上 倫久^{1,2}、鹿田 文昭²、東山 繁樹¹、泉谷 裕則²

(¹ 愛媛大学プロテオサイエンスセンター細胞増殖・腫瘍制御部門、² 愛媛大学大学院医学系研究科心臓血管呼吸器外科学)